

ブルーバス株式会社

茨城県稲敷市阿波 1262-1

[TEL:029-894-2505](tel:029-894-2505)

2024 年度 運輸安全マネジメントに基づく情報公開

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 経営者トップが主導的な役割を果たしながら「輸送の安全はわが社の根幹」であることを全従業員に対して認識させることを徹底していきます。
- (2) 法令等の遵守と安全確保は最重要であるという意識付けを全従業員に対して経営トップが日々教養し徹底させます。
- (3) 「安全とはもろいものであり、手を抜けばすぐに崩れてしまう」ことを経営トップが強く認識し、「安全対策の強化」に主導的な役割を果たし努めます。

2. 社内への周知方法

基本的な方針を全従業員に対して周知徹底させるため、社内に掲示する物の他に定期的にミーティング等での確認と点呼時に必ず唱和させ習慣づけます。

3. 輸送の安全に関する目標及びその達成状況

< 2024 年度の輸送安全目標 >

自己責任による物件・人身事故ゼロの達成

- ① 有責人身事故・有責物件事故：ゼロ
- ② 車両故障：ゼロ

< 2023 年度の目標達成状況 >

- ① 人身事故・有責物件事故：ゼロ
- ② 車両故障：ゼロ

4. 自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計（総件数及び類型別の事故件数）

・該当する事故の発生なし

5. 安全管理規定

・別途掲示

6. 輸送の安全の為に講じようとする措置及び講じた措置

(1) 輸送の安全の為に講じようとする措置及び講じた措置（2024 年度）

- ① 代表取締役による安全総点検の実施（12 月中）
- ② 安全対策会議を定期的に開催
- ③ 事故防止啓蒙活動の実施
- ④ ヒヤリハット情報の収集と共有

(2) 輸送の安全のために講じた措置（2023 年度）

- ① 代表取締役が年2回現場の運行管理状況等の総点検及び点呼立ち合いを行い会社の安全に関する基本的な方針、重点施策について社内周知を徹底し絶えず輸送の安全に務めた。

- ② 代表取締役は安全対策会議を年2回開催し、現場の運行管理の問題点、改善要望等を取りまとめた上で協議を行い、PDCAサイクルに則して不断に安全管理の改善に努めた。
- ③ 春・秋の全国交通安全運動及び年末年始の輸送安全総点検の実施に際し、事故防止運動を実施して無事故に対する全社的な意識の高揚に努めた。
- ④ 随時乗務員からヒヤリハットを収集し、事故防止教育に活用し情報共有に努めた。

7. 輸送の安全にかかわる情報の伝達体制、その他組織体制

- ・情報の伝達体制：別途事務所内掲示
- ・組織体制：別途事務所内掲示

8. 輸送の安全にかかわる教育及び研修の実施状況

- ① 全運転者を対象に年間教育計画に基づく事故防止教育を実施（12回：17名）
- ② 適齢診断および一般診断の受診及び診断結果に基づく個別指導を実施（17名）
- ③ 消火器使用訓練・非常口脱出訓練・チェーンの着脱訓練の実施（17名）
- ④ デジタルタコグラフ及びドライブレコーダーの記録を用いた指導実施（2回：17名）
- ⑤ 運行管理者及び同補助者に対し、実務の実施状況を確認し、関係法令等の研修を実施
- ⑥ 安全運転教育講習会の実施（2回：5名）（2回：5名）
- ⑦ 定期健康診断の医師の所見に基づく再検査等の指導を実施（1回：1名）

9. 輸送の安全にかかわる内部監査の結果並びにそれに基づき講じた措置及び講じようとする措置

- ・社内において輸送の安全に関する定期的な話し合いが1年に1度程度しか行われていないので、今後は定期的に話し合いの場を設け輸送の安全に関する意識を高めていくよう確認した。

10.安全統括管理に係る情報

- ・安全統括管理 代表取締役 根本 和幸 選任日 2004年7月1日

11.事業用自動車の運転者、運行管理者、整備管理者に関する情報

- ・事業用自動車の運転者 : 17名
- ・運行管理者 : 3名 運行管理補助者 2名
- ・整備管理者 : 2名 整備管理者補助 4名

12.事業用自動車に関する情報

区分	車両数	年式		平均車齢	ドライブレコーダー車載導入台数	デジタル式運行記録計搭載車両導入数	A S V 搭載車両導入台数
		最古	最新				
大型	8台	2004年	2019年	14.1年	8台	8台	2台
中型	3台	1997年	2014年	18.6年	3台	3台	1台
小型	3台	2000年	2017年	13.0年	3台	3台	0台

13.任意保険の加入状況

対人・対物保険無制限